

さいなら原発・ びわこネットワーク

ニュース第 48 号
2020 年 12 月 16 日
滋賀県大津市仰木の里
5 丁目 5 番 4 号 稲村 守 方
TEL080-5713-8629
E-mail:sinamu2002@yahoo.co.jp

美浜町議会は老朽・美浜原発3号機うごかすな！ 12.15 霽・積雪・強風の中 5 時間半の抗議行動

12月15日、福井県の美浜町議会全員協議会で12月9日の原子力発電特別委員会の議を踏まえ美浜原発3号機再稼働決定が強行されかねないとの事態で、“老朽原発うごかすな！実行委員会”の緊急反対行動が取り組まれた。私は傍聴席いっぱい(15席のみ!)入れなかったので9:30到着してから13:30まで、積雪、みぞれの町役場前で仲間とずっとマイクで抗議行動。

昼休みもなしに町議会議長は一瀉千里に終わらせたい構え。しかし全国の再稼働反対の請願は多く、少数否決するが、賛成討論も2名の議員が頑張るし(採決では3名賛成)13:30まで議会内外で闘い。しかし、これで高浜町、美浜町とも議会では多数の横暴で老朽原発である高浜原発1号機と美浜原発3号機再稼働推進の意見書提出を決められてしまった。



<左から、松下議員、木原さん、河本議員><マイクで訴える岡田啓子さん><美浜町役場に声を届ける>

しかし、朝8時から若狭町の石地さんは、前日から近辺に泊まり込みで近畿から行った仲間とともに頑張っておられた。12.4に8年の闘いで大阪地裁勝利判決を勝ち取ったテレビや新聞に12.4や12.5にいったいに登場されたあの石地さんである。宣伝行動をしていると、地元のマイカーの女性に車中から呼び止められ「今、マイクでお話されているのは石地さんじゃないですか？」と。「そうですよ」と答えると、「私も原発に反対です。この美浜で事故が起こっても逃げ場がないし、ヨウ素剤を使えばいいとかいうけどどうやってこの町役場まで取りに来るんですか?!ぜひ頑張ってください」と、勇気百倍に。

またずっと刑事が遠巻きで唯一の聴衆でマイク宣伝を続けていると若い女性がリュックを背負って行動に参加されてきた。見ると、11.23から11.29までの関電大阪本店から美浜原発事業本部までのリレーデモに初めて参加された京都の女性。この方は、反原発闘争や社会運動初参加で、ネット検索で11.23デモ出発関電本店集会から参加。聞くと、朝からJRの列車を乗り継いで今(11:00過ぎ)到着したとのこと。感激だった。

雹や霰や雪はまだでしたが、冷たい雨や霽は最悪だった。また、ときどき日本海から直接すさまじい強風が吹きつけて、傍聴の仲間が地面に寝かせて置いて行った旗やノボリまでが吹き飛ばされそうになった。リレーデモ準備期間とデモ真っ最中も含めて美浜町と高浜町で10回くらいこの間繰り広げられてきたこの闘いも、12月15日で一応終了だが、両町長がぬけぬけと「地元同意」を発表してももう一つの「地元」である福井県は核のゴミ捨て場の福井県外の関電による発表がない限り了解は出せない。“老朽原発うごかすな!”の闘いは、「美浜3号機の21年1月再稼働」の関電発表阻止に向け、越年する。

「美浜町議は福井県や岐阜・東海などの風下の住民、琵琶湖を命の水源とする1450万人の生活を奪うのか?!」「子どもたちの未来を奪うな」「原発拒否してくらしている人たちはたくさんいるぞ」「原発のない町づくりを進めよう」「関電は若狭湾を汚すな!琵琶湖を放射能で汚すな!」と、議会内で奮闘した松下・河本両議員の報告と木原壯林さんの傍聴報告を受け、傍聴参加の仲間とともに行動参加全員で、満腔からの怒りのシュプレヒコールで行動を締めくくった。(I)